The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	彙報
Author(s)	
Citation	懐徳. 1952, 23, p. 70-70
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90256
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

彙　報

○昭和二十六年　十月六日午後二時より記念祭典執行、終つて關西大學教授石濱純太郎氏の「町人の學問」と題する記念講演があつた。

○十月六日雜誌「懷德」第二十二號（復刊第一號）を發行した。因に表題の懷德の二字は三宅萬年先生の筆である。

○十月八日より十三日に至る六日間、本會及大阪大學文學部共催、大阪市立大學法文學部・朝日新聞社後援の下に、毎日午後六時より八時まで、大阪大學醫學部第二講堂で懷德堂講座第二回東西文化交流講座を開催、左記の講演があつた。聽講者延二百十人。

演題と講師

歐亞大陸北部を通じての古代東西文化の交流（幻燈使用）　京大教授　梅原　末治

香料の源流　小川香料店　山田憲太郎

東西交通上の南洋　阪大教授　桑田　六郎

法生活上より見たる東洋と西洋　大阪市大教授　谷口　知平

天文曆法より觀たる東西文化の比較　大阪學藝大教授　能田　忠亮

古代醫學の東西（幻燈使用）　阪大教授　木村　康一

○十一月三日　本會は文化功勞者として大阪府教育委員會より表彰され、「なにわ賞」を受けた。

○十二月二十七日　理事江崎政忠氏逝去。

○昭和二十七年　五月二十六日より三十日に至る五日間、毎日午後六時より七時まで、本會及大阪大學文學部共同主催、大阪市立大學法文學部・朝日新聞社文化事業團後援で、大阪大學醫學部第二講堂に於て、懷德堂講座第三回古典講座を開催、左記の講演があつた。聽講者延二百八十人。

演題と講師

老　子　阪大教授　木村　英一

能樂の詞章としての謠曲　懷德堂講師　阪倉篤太郎

日本書紀について　京大名譽教授　西田直二郎

中　庸　懷德堂顧問　武內　義雄

蘇東坡の詩について　京大教授　小川　環樹